

「健康でいること」それが何よりの社会 貢献であると考えています

白石市老人クラブ連合会

市民の皆さまへ

白石市老人クラブ連合会長 小室 元一

平成も20年となり、昭和生まれも80歳を超す時代となりました。今回機会を得て、白石市老人クラブの現在の状況について、申し上げさせていただくことになりました。市民の皆さまには、常日ごろから老人クラブの活動にご理解とご協力をいただき、大変お世話になっておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

私たち白石市老人クラブも、発足以来先輩の方々に受け継がれ、40余年を数えることになりました。10年ほど前までは、単位クラブが77クラブ、会員数は3,800人を数える状況でしたが、現在は残念なことに、単位クラブが52クラブ、会員数は2,400人余りと、毎年減少の一途をたどっている状況です。このことが、老人クラブの最大の悩みとなっております。

地域を基盤とする高齢者の自主組織ではありませんが、会員資格はおおむね60歳以上で、健康づくりやレクリエーション、ボランティア活動、世代間交流活動などを行っています。

老人クラブは、各地区老人クラブの上に市区町村老連、都道府県老連、指定都市老連、全国老人クラブ連合会がある、全国組織です。

白石市老人クラブ連合会の私たちは、身に付けた経験を生かして、健康を保ち、心豊かな地域社会づくりに協力してきました。

今後も、健康・友愛・奉仕の全国三大運動を軸として、生活をより豊かにする楽しい活動と、地域を明るくする社会活動を進めていく所存です。

市民の皆さまにおかれましては、私たち老人クラブの存在に対し深いご理解をいただき、一人でも多く会員としてご加入いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

老人クラブは約780万会員の全国組織です!

全国の老人クラブ構成

健康 友愛 奉仕

全国三大運動を軸として活動しています!

単位老人クラブ・124,120クラブ (7,807,716名)

地区老人クラブ連合会

白石市 (52クラブ・2,420名)
※宮城県全体で1,701クラブ・78,779名

市区町村老人クラブ連合会

白石市 (9地区連合会)

都道府県・指定都市老人クラブ連合会 (59団体)

白石市老人クラブ連合会
※宮城県内に35団体

主役は各地域の単位老人クラブなの。

白石市老人クラブ構成

白石市老人クラブ連合会	地区連合会	クラブ数
編集委員会	白石川北地区連合会	11
	白石川南地区連合会	8
	越河地区連合会	3
	斎川地区連合会	3
	大平地区連合会	1
	大鷹沢地区連合会	7
健康委員会	白川地区連合会	6
	福岡地区連合会	12
女性委員会	小原地区連合会	1
	合計	52単位クラブで構成

白石市老人クラブ連合会(以下、白老連)は、9つの地区連合会から成り立っており、平成19年4月現在、全52単位クラブ、2,420名の組織となっています。白老連の事業は、各地区より選抜された人員で構成する5つの専門委員会と協議し、理事会の承認を経て行われます。委員会の構成は、総務委員会(クラブ大会など)、健康委員会(ゲートボール大会など)、研修委員会(研修旅行など)、編集委員会(会報作成)、女性委員会(女性大会など)となっており、それぞれの事業をよりよく行うため活動しています。

老人クラブ大会・趣味の作品展示会

健康・友愛・奉仕の全国三大運動を軸として“心豊かな地域社会づくりに貢献する”ことを確認する重要な大会です。

第二部は「演芸の部」で、カラオケやダンス、舞踏と、大いに盛り上がる大会となっています。

同時に行われる趣味の作品展示会では、手芸や絵画、写真、書道、生花、盆栽と、会員の皆さまに出展してもらっています。心温まる作品から、ダイナミックで荘厳な作品まで、素晴らしい作品ばかりです。長生きはだてじゃありません。



スポーツ大会

8月にはゲートボール大会、9月にはシニアスポーツ大会を開催(グラウンドゴルフ・ペタンク)。大いに盛り上がる大会となっています。優勝チームは白石市老人クラブ代表として県大会に出場し、白石の元気なところを“見つけて!”もらっています。健康維持・増進には欠かせない行事です。



テレビ番組のコーナーで人気のペタンクも大会競技の一つ

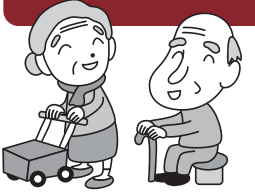
▲こちらは県大会の様子。上位入賞者は全国大会に進みます。

老人クラブではお互いに助け合い、活動を共にする仲間を随時募集しています!

(詳しくは、お近くの老人クラブまでご連絡ください。)

友愛活動

心と心の触れ合いやつながりを基盤に、互いに支え合っていく活動です。主に一人暮らしの方を対象に話し相手になり、日常生活の援助や安否確認、声掛けなどを行っています。高齢化が進む中で、お互いがお互いを支え合う「相互支援」という考え方は避けて通れない概念です。いつも笑顔で暮らすために、人と人が触れ合い、支え合う友愛活動を、今後も続けていきたいと思っています。



認知症サポーター養成講座

認知症の方々の良き理解者となる認知症サポーターを、より多く育てることを目的とした取り組みです。認知症の方々を地域で支える仕組みをつくり、認知症になっても安心して暮らせるまちの実現を目指しています。認知症の理解と共に、予防や進行を遅らせるための方法などのお話もありました。この取り組みは、老人クラブだけでなく、認知症サポーター100万人を目指す全国的な取り組みです。100万人達成後も続けていきたいですね。



▲昨年8月10日の講座の様子

昨年はこのような活動を行いました

開催日	場所	活動内容
4月13日	総合福祉センター	平成19年度会計監査
4月23日	総合福祉センター	平成19年度第44回定期総会
5月23日~25日	鎌倉・天城峠・修善寺方面	平成19年度白老連研修旅行
6月22日	ハレス宮城野(仙台市)	高齢者相互支援推進啓発事業-モデル指定老連総会議
7月9日	名取市体育館	老人クラブ健康づくり研修会
7月13日	中央公民館	平成19年度白老連女性のつどい
8月10日	薬師の湯ひまわりセンター	認知症サポーター養成講座
8月22日	緑地公園	第25回白老連ゲートボール大会
8月30日	ホテル白萩(仙台市)	県老連女性リーダーセミナー
9月6日	緑地公園	第12回白老連シニアスポーツ大会
9月15日~21日		平成19年度「老人の日・老人週間」
9月20日		平成19年度全国一斉「社会奉仕の日」
10月12日	加美町	第12回宮城県シニアスポーツ大会
10月30日	中央公民館	第43回白老連クラブ大会・第35回趣味の作品展示会
11月15日	石巻市	第28回宮城県老人クラブ大会
2月19日	中央公民館	平成19年度単位老人クラブ指導者研修会